

スプリングレビュー調書

消防局

【基本政策】

災害に強い都市(まち)づくり

【新たな視点による政策提案】

- ◆ 東海地震の震災対応に要する消防力の集中と消防防災施設の強化
東日本大震災の検証により、本市の臨海部、都市部、山間部のそれぞれの地域性に着目し、想定される災害特徴に応じた、各消防署の優先・集中すべき活動を再検討するとともに、それに伴う庁舎、車両、耐震貯水、装備等について迅速に必要な整備を進める。また、はまかぜの一年間の運航実績を鑑み、今後に向けてより安全な運航手法を検討する。
- ◆ 三遠南信地域の消防防災体制の連携強化
環浜名湖地域の消防体制の強化のため、25年度の受託開始を目途に湖西市との広域化を進めるとともに、三遠南信地域の各消防機関において今回の震災を踏まえた連携について検討する。

【第2次浜松市総合計画の計画期間(H23~26)における主要課題等】

- ◆ 東海地震による大きな被害が予想される地域であり、消防防災及び救急体制の充実・強化を図る必要がある。
 - ・ 消防防災施設の充実・強化について

【調査・研究を進めている案件、今後調査・研究を計画している案件】

- ◆ 東日本大震災による、現地消防機関の活動及び消防施設の被災状況に関する調査
- ◆ 震災時の消防活動に有効かつ必要な車両、装備に関する調査
- ◆ 新東名、三遠南信道の開通により、トンネル内など道路上で発生する災害に適切に対応できる部隊配置、資機材等に関する調査及び検討

【協議事項】

消防防災施設の充実・強化について

【現状と課題】

- ・ 耐震性を有する消防水利の整備を進めているが、震災時の多発、大規模な火災に対応するため、早期に整備し、充足していく必要がある。
- ・ 消防ヘリコプターの運航は、災害時の情報収集、津波災害などの広報活動等に有効であるが、緊急時の夜間や視界不良時の運航に、より安全な運航の確保と対応力の向上を図る必要がある。

【課題解決に向けた今後の方向性】

- ・ 建物が密集する市街地、準市街地等を優先して、耐震性の貯水槽及び防火井戸を整備する。
- ・ より安全な消防ヘリコプターの運航の確保と対応力の向上を図るため、パイロットに計器飛行証明を取得させる。

【今後の主要事業】

- ・ 耐震性貯水槽設置事業
- ・ 防火井戸設置事業
- ・ 消防航空隊運営維持管理事業

【論点】

- ◆ 広域火災に対応できる消防水利の整備について
 - ・ 耐震性貯水槽や防火井戸の整備計画について
- ◆ 大規模災害時の夜間ヘリ運行に必要な資格取得について
 - ・ 資格取得計画について

【協議要旨】

- ◆ 消防防災施設の設置に当たっては、津波対策について優先して検討する。
- ◆ 消防水利について、優先順位を考えて必要な箇所の整備を行う。
- ◆ 計器飛行証明資格については、有資格者の採用など再検討を行う。

消防防災施設の充実・強化について（耐震性貯水槽等の整備）

1 目的

大規模地震の発生時に予想される同時多発火災に備え、耐震力の弱い消火栓に代わる耐震性の貯水槽及び防火井戸を設置し、消防隊及び自主防災隊の消火活動の水源を確保することを目的とする。

2 事業内容

耐震性の消防水利が不足している地域に、耐震性の貯水槽及び防火井戸を設置する。

震災時に迅速な消防活動が展開できるよう、早期の充足を図っていく。

3 耐震性貯水槽等の設置状況

250m×250mの範囲を消防水利1基で火災防ぎよするものと考え、建築物の密集度や人口等を勘案して算出したメッシュ数が基準となる。

現在の区別の充足率は、以下のとおり。

平成23年4月1日現在

	合計	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
基準メッシュ数	2,953.5	564.5	536.5	356	446.5	440	558	52
充足メッシュ数	2,079.5	478	384	254	283.5	245.5	405	29.5
充足率（%）	70.4	84.7	71.6	71.3	63.5	55.8	72.6	56.7

4 整備方針

未充足メッシュに対し、地域内人口、住宅の密集状況、延焼危険等を考慮して、特に設置を促進すべき地域を絞り込んだうえで、同時多発火災により消防活動が困難と予想される密集地域を中心に設置を図る。

この設置促進地域を、90箇所とし、人口推移の状況や水脈条件などを参考に、5年間で耐震性貯水槽及び耐震性を有する防火井戸を設置する。